

甲賀漁港改良工事
特記仕様書

一般事項

1. 本特記仕様書は、工事の施工に関する特別の事項を示すものであり、一般の事項については三重県公共工事共通仕様書(以下、共通仕様書)等によるものとする。
2. 工事着手にするにあたり、設計計画及び現地の状況を十分に把握した後に、工事方法及び施工順序について予め発注者の承諾を得てから施工に着手すること。
3. 本工事により、既設構造物や第三者に対して損害を与えないよう十分注意すること。
万一損傷又は損害を与えた場合は、発注者及び関係者の了承を得た後に、受注者の責任により原形復旧するとともに解決に全力をあげること。
4. 工事の施工に際しては、発注者との協議によるほか海上保安部、漁業協同組合等関係機関及び地元住民と十分調整を行うとともに必要な手続きを行うこと。
また、施工期間・時間等の詳細な工程についても十分調整を行い、円滑な工事進捗に努めること。
5. 施工場所は漁港区域内であり施工地域に近接して漁港利用漁船の往来があるため、安全対策・安全管理には十分注意すること。
6. その他、本特記仕様書・施工条件明示一覧表及び三重県公共工事共通仕様書に定めのない事項で疑義が生じた場合は、書面により発注者と協議を行うこと。

施工

1. 施工前に現地状況の測量調査を行い、結果を発注者に報告すること。事前測量の結果が契約図書と異なる場合は、協議の上変更対象とする。

その他

1. 本工事に使用する船舶のえい航費及び重機の輸送費については、当該工事施工港又は近隣港に在港している船舶及び機種を使用した場合、並びに作業後、当該工事施工港又は近隣港において作業を行うこと等、回航・えい航距離が設計を下回ることが明らかな場合には、減額変更の対象とする。

船舶回航・えい航費は下記の条件にて積算をしているが、発注者の積算時と作業船在港状況が異なり、往路・復路の回航・えい航距離が設計を上回ることが判明した場合、受注者は工事着手前に監督員と作業船在港状況、回航・えい航距離等が確認出来る書面により協議するものとし、必要が認められる場合は、増額変更の対象とする。

| 船種 | 往復/片道の別 | 片道曳航距離 | 備考 |
|-----------------------|---------|--------|---------|
| 起重機船(非航旋回)鋼D150t吊(参考) | 往復 | 16哩 | 独行費計上なし |

2. 作業船回航・えい航の出港・帰港日及び場所について、確認できる資料(状況写真等)にて報告すること。
3. 本工事における消波ブロックについては、波切漁港に設置されている既存の消波ブロックを流用する。
ブロックの個数については、簡易調査より求めた数量であるため、消波ブロックを撤去(移設)する際に、流用に適さない或いは個数が不足する等の当初の想定と変更が生じる場合は、監督職員と協議をすること。

4. 標識灯仕様

1. 品名 標識灯
2. 数量 1基
3. 仕様

イ) 標体

- ・主要材質 アルミニウム合金(支柱 ステンレス製)
- ・本体色 黄色
- ・設置方法 ボルト方式

ロ) 灯部

- ・光源 超高輝度LED
- ・灯色 黄光
- ・灯質 4秒1閃光(明0.5秒)
- ・実効光度 19cd相当(定格電圧時、保守率含まず)
14cd相当(定格電圧時、保守率含む)
- ・光達距離 5.5km

ハ) 電源

- ・太陽電池式

4. 材料使用の承諾及び段階確認

- ・本工事にて設置する標識灯は、性能を証明する承認図書を提出し、監督職員及び鳥羽海上保安部が承諾した標識灯とする。
- ・設置に先立ち、監督職員により形状・寸法等の確認を受けること。

5. 設置について

- ・本標識灯は消波ブロック(中空三角ブロック12t型)上に設置する計画であるが、詳細な設置位置は監督職員が検討し指示する。
- ・上記により決定した設置位置において、水平部を確保したうえで、標識灯をボルト締め等により堅固に固定すること。

6. 設置出来形管理基準及び規格値

- ・標識灯は原則として垂直に設置するものとし、設置後、その状況を監督職員が現地にて確認する。
- ・設置に伴う出来形管理項目は先端部の変位(傾きによる水平ずれ)とし、その規格値は標識灯高さの10%以内とする。
- ・なお、設置箇所周辺の現地海象条件等により、上記によりがたい場合は監督職員と協議すること。